

- 問1 ある地域の地形図を確認すると、等高線の間隔が狭い山地から間隔が広い平地へと川が流れ出る地点を中心に、緩やかな傾斜を示す等高線が同心円状に描かれ、そこには果樹園の地図記号が広がっていた。この地形の説明として正しいものを選びなさい。（2020年 茨城県公立入試 類似）
1. 台地と呼ばれ、周囲より一段高くなった平坦な場所に形成される。
 2. 扇状地と呼ばれ、山地と平地の境界付近に形成される。
 3. カルスト地形と呼ばれ、石灰岩が侵食されることで形成される。
 4. 三角州と呼ばれ、河口付近の低湿地に形成される。
- 問2 新潟県付近のように、冬の降水量が月間200mmを超えるなど、冬に潤潤で夏に晴天が多い気候の特徴が生じる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 秋田県公立入試 類似）
1. 周囲を高い山々に囲まれた盆地状の地形であり、季節風の影響を受けにくく、年間を通じて降水量が少ないため。
 2. 夏の南東季節風が太平洋から湿った空気を運び、日本海側まで到達して長期間の雨を降らせるため。
 3. 一年を通じて偏西風の影響を強く受け、大陸からの乾燥した空気が常に供給されることで夏と冬の寒暖差が生まれるため。
 4. 冬の北西季節風が日本海で水蒸気を補給し、山脈の風上側で雪を降らせる一方、夏は山を越えた乾いた風の影響を受けるため。
- 問3 日本の諸地域の気候について述べた次の文のうち、冬の12月や1月に降水量が極端に多くなる統計上の特徴を持つ「日本海側の気候」の説明として最も適切なものはどれですか。（2019年 福島県公立入試 類似）
1. 夏に小笠原気圧から吹き出す南東の季節風が、梅雨前線とともに大量の雨をもたらすため。
 2. 年間を通じて安定した高気圧に覆われ、山地によって湿った空気が遮られるため。
 3. 冬に大陸から吹きつける冷たく湿った北西の季節風が、山脈にぶつかって雪を降らせるため。
 4. 標高が高い盆地特有の地形で、夏と冬の気温差が大きく降水量が通年で少ないため。
- 問4 山地から平地へ川が流れ出る場所に、上流から運ばれてきた土砂が堆積してできた扇形の地形を何といいますか。砂や小石が多く含まれ、水はけが良いという特徴があります。（2022年 高知県公立入試 類似）
1. 扇状地
 2. 台地
 3. 砂丘
 4. 三角州
- 問5 山地と平野の境界に形成される扇状地では、粒の大きな砂や礫（小石）が堆積しているため、河川の水が地下にしみ込みやすいという性質があります。このため、扇状地の中央部（扇尖）で見られる特徴的な土地利用として、最も適切なものはどれですか。（2020年 大阪府公立入試 類似）
1. 水はけの良さを生かした果樹園や畑
 2. 豊富な地表水を利用した広大な水田
 3. 低湿な土地を利用した運根などの栽培
 4. 地盤の固さを生かした大規模な工業団地
- 問6 松本市などに代表される中央高地の気候について、富山市（日本海側）や名古屋市（太平洋側）の統計と比較したとき、その特徴として最も適切な説明を選びなさい。（2018年 埼玉県公立入試 類似）
1. 冬は北西の季節風の影響で降雪が多く、夏は比較的涼しい。
 2. 梅雨や台風の影響を強く受けるため、夏から秋にかけての降水量が非常に多い。
 3. 年間を通して降水量が比較的に少なく、夏と冬の気温差が大きくなる。
 4. 一年中温暖な気候であり、冬でも最低気温が氷点下になることはほとんどない。
- 問7 自治体が発行する防災資料において、洪水時の浸水想定区域や土砂災害警戒区域、および指定緊急避難場所などの情報を住民に提供する主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2023年 山口県公立入試 類似）
1. 観光客に対して地域の自然環境を詳しく紹介し、エコツーリズムを推進するため
 2. 住民が地域の災害リスクを正しく理解し、災害時に迅速かつ適切な避難行動をとれるようにするため
 3. 地域の土地利用の歴史を記録し、伝統的な景観を維持するための資料とするため
 4. 土地の起伏や標高を正確に示し、道路建設などの公共事業の計画を住民に知らせるため
- 問8 北海道の石狩川流域は、かつて泥炭地と呼ばれる湿地帯が広がっていましたが、現在では土地改良が進み、広大な農地が広がっています。この地域の土地利用を2万5千分の1地形図で確認した際、最も多く見られる「V」の字の形をした地図記号が示す事柄と、その特徴について説明したものとして適切なものを選びなさい。（2021年 福岡県公立入試 類似）
1. 広葉樹林の記号であり、石狩川沿いに自然のままの森が残っていることを示す。
 2. 果樹園の記号であり、寒冷な気候に適した果物の栽培が行われていることを示す。
 3. 畑の記号であり、野菜や飼料作物などが栽培されていることを示す。
 4. 田の記号であり、石狩川の豊富な水を利用した稲作が行われていることを示す。
- 問9 多目的ダムの機能について述べた次の文のうち、日本の河川の特性を踏まえた「水量調節」と「資源活用」の観点から正しいものはどれですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
1. 集中豪雨の際にダムに水を貯めることで河川の急激な増水を抑え、貯めた水は平時に水力発電や水道用水として利用する。
 2. 日本海側の地域において、冬の積雪が河川に流れ込むのを防ぎ、融雪による洪水を完全に断つために建設される。
 3. 河川の流れを分断することで、上流から流れてくる栄養分豊富な土砂をせき止め、ダム湖内で水産資源の養殖のみに特化させる。
 4. 森林の保水能力を高めるために、河川の周囲に大規模な堤防を築いて雨水を地下に浸透させやすくする。
- 問10 自然災害による浸水被害を予測し、避難場所を検討する際に、地形図の等高線から読み取れる情報の説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 長崎県公立入試 類似）
1. 等高線の間隔が広い平坦な低地は、河川が氾濫した際に水が溜まりやすく、浸水被害のリスクが高い。
 2. 等高線が密になっている場所は、土地が平らであることを示しているため、浸水時の避難所に適している。
 3. 地形図に示される等高線は海面からの深さを表すものであるため、洪水のリスクを判断する材料にはならない。
 4. 等高線の数値が大きい地点であれば、河川のすぐ近くであっても浸水の心配は全く考慮しなくてよい。
- 問11 静岡県島田市付近の、大井川が山間部から平野へと流れ出る場所に見られる地形について、その成り立ちと土地利用の関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。なお、この地域には台地状の地形が広がり、地図上には茶畑の記号が多く記載されています。（2025年 京都府公立入試 類似）
1. 火山灰が厚く堆積して形成されており、酸性の土壌を好む茶の栽培に利用されている。
 2. 河口付近に細かい泥が堆積して形成されており、水分が豊富なため広葉樹林が広がっている。
 3. 川の流れによって周囲が削られて残った地形であり、浸水の心配がないため針葉樹林として利用されている。
 4. 河川が運んできた土砂が堆積して形成されており、水はけが良いという特性を活かして茶畑が作られている。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 扇状地と呼ばれ、山地と平地の境界付近に形成される。	山地から平地への出口（谷口）を頂点として広がる地形は扇状地です。地形図では等高線が山側から平地側へ丸く突き出すように描かれます。記述にある「果樹園の記号」や「山地と平地の境界」といった特徴は、まさに扇状地に見られる代表的な景観です。
問2	答え 4 冬の北西季節風が日本海で水蒸気を補給し、山脈の風上側で雪を降らせる一方、夏は山を越えた乾いた風の影響を受けるため。	日本海側の地域では、冬は北西からの季節風が日本海で水分を得て雪を降らせるため、降水量が非常に多くなります。逆に夏は、太平洋から吹く南東の季節風が中央の山脈で水分を落とした後に吹き下ろしてくるため、晴天の日が多くなり、気温も上昇しやすい（フェーン現象が発生することもある）というメカニズムになっています。
問3	答え 3 冬に大陸から吹きつける冷たく湿った北西の季節風が、山脈にぶつかり雪を降らせるため。	日本海側の地域では、冬になるとユーラシア大陸から北西の季節風が吹きつけます。この風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、日本の中心部にある山脈にぶつかることで、日本海側に多くの雪（降水量）をもたらします。そのため、冬の時期に降水量のグラフが突出して高くなるのが特徴です。
問4	答え 1 扇状地	川が山地から平地に差し掛かる付近では、流れが緩やかになるため、運ばれてきた砂や小石が堆積します。これにより形成される扇形の地形を扇状地と呼びます。堆積物の粒が大きいため、雨水などが地下に浸透しやすく、水はけが非常に良いという性質を持っています。
問5	答え 1 水はけの良さを生かした果樹園や畑	扇状地の堆積物は粒子が粗く隙間が多いため、水が地下に浸透して「伏流水」となります。地表に水が残りにくいため、古くから稲作（水田）には不向きとされ、一方で水はけの良さを好む果樹（ブドウやモモなど）の栽培や畑作に広く利用されてきました。山梨県の甲府盆地などがその代表例です。
問6	答え 3 年間を通して降水量が比較的少なく、夏と冬の気温差が大きくなる。	中央高地は本州の中央部に位置する内陸部であるため、海からの湿った空気が山脈に遮られます。その結果、松本市などの気候データに現れるように、海岸沿いの都市と比べて年間を通して降水量が少なくなります。また、海の影響を受けにくいため、夏は気温が上がりやすく冬は冷え込みが厳しい、つまり夏と冬の気温差（年較差）が大きいという特徴があります。
問7	答え 2 住民が地域の災害リスクを正しく理解し、災害時に迅速かつ適切な避難行動をとれるようにするため	ハザードマップは、自然災害による被害の可能性を可視化することで、住民の防災意識を高め、避難のタイミングや経路を事前に検討させる役割を担っています。これにより、実際の災害発生時に混乱を避け、命を守る行動につなげることが最大の目的です。
問8	答え 3 畑の記号であり、野菜や飼料作物などが栽培されていることを示す。	石狩川流域の石狩平野では、排水施設の整備や客土といった大規模な土地改良が行われ、かつての湿地が日本を代表する農業地帯へと生まれ変わりました。現在の石狩川周辺の地形図では、広大な面積にわたって「V」の字型の畑の記号が描かれており、大規模な畑作や酪農のための飼料生産が行われていることを読み取ることができます。
問9	答え 1 集中豪雨の際にダムに水を貯めることで河川の急激な増水を抑え、貯めた水は平時に水力発電や水道用水として利用する。	多目的ダムは、単に水を貯めるだけでなく、季節や気象状況に応じてダムからの放流量をコントロール（水量調節）する機能を持っています。これにより、台風などの気象災害から地域を守る「防災」の役割と、急峻な地形を利用した「水力発電」や生活を支える水資源の確保という「資源活用」の役割を両立させています。砂防ダムと混同されやすいですが、多目的ダムはより幅広い利活用を前提としています。
問10	答え 1 等高線の間隔が広い平坦な低地は、河川が氾濫した際に水が溜まりやすく、浸水被害のリスクが高い。	等高線の間隔が広いことは、その土地の傾斜が緩やかで平坦であることを示しています。河川付近の平坦な低地は、一度氾濫が起きると水が引きにくく、滞留して深刻な浸水被害をもたらす傾向があります。そのため、防災学習やハザードマップの確認においては、標高だけでなく地形の起伏（等高線の密度）を正しく読み取ることが求められます。
問11	答え 4 河川が運んできた土砂が堆積して形成されており、水はけが良いという特性を活かして茶畑が作られている。	扇状地は、山間部から平野に出たところで河川の流速が落ち、運搬されてきた土砂が堆積することで形成されます。構成物質に砂や礫（小石）が多く含まれるため、水が地中にしみ込みやすく、非常に水はけが良いのが特徴です。そのため、水利の悪い場所では稲作よりも果樹園や茶畑としての利用が適しており、静岡県の大井川沿いにある牧之原台地などの扇状地では大規模な茶畑が見られます。

- 問1 ある地域の地形図を確認したところ、山地の斜面に「三角形の頂点から垂直な線が引かれた形状」の記号が密集していました。この地域の景観や環境について説明した文として、最も適切なものを次のなかから選びなさい。（2017年 三重県公立入試 類似）
1. 冬でも緑の葉を保つスギやマツなどが多く、木材生産などに利用されることもある景観。
 2. 傾斜地を利用して、ブドウやナシなどの果実を収穫するための樹木が整然と並んでいる景観。
 3. 米を生産するために、水をためる仕組みを整えた平坦な耕作地が広がっている景観。
 4. 秋に紅葉し、冬に落葉するブナやミズナラなどの広葉樹が中心となっている景観。
- 問2 地震発生時に液状化現象が起こりやすい地域の土地条件と、その仕組みについて説明した文として最も適切なものはどれですか。（2024年 島根県公立入試 類似）
1. 大規模な森林伐採が行われた場所で、土壌の保水力が失われて地面が流動化する。
 2. 水分を多く含んだ砂質の埋め立て地などで、振動により砂の粒子の結合が崩れて地盤が軟弱化する。
 3. 硬い岩盤で構成された台地において、地震のエネルギーが一点に集中して地面が割れる。
 4. 山間部の急傾斜地において、激しい揺れによって表面の土砂が一度に崩れ落ちる。
- 問3 河川が山間部から平野部へ流れ出る谷口付近において、流速が落ちることで運搬されてきた土砂が堆積してできた扇型の地形について、その名称と土地利用の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2018年 和歌山県公立入試 類似）
1. 扇状地であり、水はけの良さを活かして果樹園などに利用される。
 2. 台地であり、洪水の影響を受けにくいことを活かして住宅地として利用される。
 3. 三角州であり、水が得やすいことを活かして主に水田として利用される。
 4. 砂丘であり、乾燥に強い作物を栽培する畑として利用される。
- 問4 火山活動に関連する地形である「カルデラ」の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものはどれか、次から選びなさい。（2020年 佐賀県公立入試 類似）
1. 火山灰が長期間にわたって広範囲に降り積もり、水はけのよい平坦な台地が形成されたもの。
 2. 火口付近から流れ出した溶岩が冷えて固まり、おわんを伏せたような形の山が形成されたもの。
 3. 火山の周囲にある川の周辺で、土砂が堆積してできた平坦な土地が、地殻変動で数段の階段状になったもの。
 4. 噴火によって地下のマグマが大量に放出されたあと、地表が自重で陥没して大規模なくぼ地となったもの。
- 問5 九州地方の阿蘇山周辺に見られる、大規模な火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没することによって形成された巨大な窪地を何と呼びますか。（2021年 新潟県公立入試 類似）
1. シラス台地
 2. 三角州
 3. 扇状地
 4. カルデラ
- 問6 河川が山地から平地へと流れ出る「谷口」と呼ばれる場所では、流れが急に緩やかになることで、上流から運ばれてきた土砂が堆積し、同心円状に広がる地形が形成されます。この地形の名称として正しいものはどれですか。（2019年 愛媛県公立入試 類似）
1. 氾濫原
 2. 扇状地
 3. 台地
 4. 三角州
- 問7 地形図において、特定の二地点を直線で結び、その線に沿った地表の起伏を横から見た図として表したものを何というか。また、その図を作成する際に、地形図から読み取るべき情報として最も適切な説明を選びなさい。（2021年 奈良県公立入試 類似）
1. 断面図と呼び、直線が等高線と交わる地点の標高を読み取り、高さの目盛りに対応させてつなぐ。
 2. 等高線図と呼び、直線上の最も標高が高い地点と低い地点のみを抽出し、その二点を直線で結ぶ。
 3. 柱状図と呼び、直線上の各地点における地層の重なり方や岩石の種類を詳しく描き入れる。
 4. 鳥瞰図と呼び、特定の地点から対象となる地形を斜め上から見下ろしたような遠近感で描く。
- 問8 瀬戸内海沿岸の地域における降水量の特徴について、日本海側の地域や太平洋側の地域と比較した説明として正しいものはどれですか。（2018年 徳島県公立入試 類似）
1. 日本アルプスに遮られた中央高地と同様の気候であり、冬の寒さが厳しく、夏にのみ集中的に雨が降る。
 2. 対馬海流の影響により、冬の降水量は日本海側の地域とほぼ同じ水準になるが、夏の降水量は極端に少ない。
 3. 黒潮の影響を強く受けるため、太平洋側の地域と同じように、夏から秋にかけての降水量が日本で最も多い。
 4. 日本海側のように冬に降水量が増えることも、太平洋側のように夏に降水量が増えることもなく、年間を通じて降水量が少ない。
- 問9 火山の噴火によって地下のマグマが大量に排出された結果、その重みを支えきれなくなった地表が陥没して形成される巨大な「くぼ地」のことを何といいますか。（2018年 山形県公立入試 類似）
1. リアス海岸
 2. 扇状地
 3. カルスト地形
 4. カルデラ
- 問10 山地が海岸まで迫り、起伏の多い土地が沈むことによって形成された、奥行きのある細かな湾と小さな岬が交互に連続する複雑な形状の海岸地形を何というか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
1. 砂州
 2. 干拓地
 3. リアス海岸
 4. 海岸段丘
- 問11 日本の気候区分において、冬（1月や12月）の降水量が夏よりも多くなり、雪が多く降る特徴を持つ地域はどこですか。（2021年 北海道公立入試 類似）
1. 太平洋側の気候
 2. 中央高地の気候
 3. 瀬戸内の気候
 4. 日本海側の気候
- 問12 三角州の形成過程と土地利用に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2015年 千葉県公立入試 類似）
1. 川が山地から平地に流れ出す場所に土砂が積もってできた地形で、水はけが良いため果樹園などに利用されることが多い。
 2. 河川が運んできた砂や泥が河口付近に積もってできた地形で、水が得やすいため水田や都市として利用されることが多い。
 3. 火山の噴火によって噴出した火山灰が厚く積もってできた地形で、排水が悪いためかつては大規模な原野が広がっていた。
 4. 海面の下落や地盤の隆起によってできた、周囲より一段高い平坦な地形で、古くから畑や住宅地として利用されてきた。
- 問13 日本の太平洋沿岸を、赤道に近い南の海域から北へ向かって流れる暖流は、別名「日本海流」とも呼ばれます。この海流の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2018年 千葉県公立入試 類似）
1. リマン海流
 2. 黒潮
 3. 対馬海流
 4. 親潮
- 問14 日本列島のほぼ中央に位置し、地質的に東日本と西日本に分ける巨大な溝状の地形を「フォッサマグナ」と呼びます。このフォッサマグナの西側の境界線にあたり、新潟県から長野県を通り静岡県へと至る構造線の名称を答えなさい。（2016年 愛媛県公立入試 類似）
1. 棚倉構造線
 2. 北断層帯
 3. 糸魚川・静岡構造線
 4. 中央構造線

答え合わせ・解説

問1	答え 1 冬でも緑の葉を保つスギやマツなどが多く、木材生産などに利用されることもある景観。	問題文にある地図記号は針葉樹林を示すものであり、日本では主にスギ、ヒノキ、マツなどが該当します。これらは常緑樹が多く、建材としての利用価値が高いため、人工林として植えられているケースも多く見られます。広葉樹林や果樹園、田（水田）とは、地図記号の形状によって明確に区別されています。
問2	答え 2 水分を多く含んだ砂質の埋め立て地などで、振動により砂の粒子の結合が崩れて地盤が軟弱化する。	液状化は、特に沿岸部の埋め立て地やかつての河川敷など、水と砂が多い場所で発生しやすいのが特徴です。地震の衝撃で砂の粒子の隙間にあった水が押し出され、地面全体が液体のような挙動を示すようになります。これにより、本来は強固だったはずの地盤が支える力を失い、建物の倒壊やライフラインの寸断を引き起こします。
問3	答え 1 扇状地であり、水はけの良さを活かして果樹園などに利用される。	山地から平地に河川が流れ出る場所では、勾配が急に緩やかになるため、河川が運んできた土砂が堆積しやすくなります。こうして形成される扇状地は、堆積した土砂の粒が大きく、隙間から水が地下へしみ込みやすい（水はけが良い）という性質を持ちます。そのため、地表に水が溜まりにくい環境を好むブドウやモモなどの果樹栽培に広く利用されています。一方、河口付近にできる三角州は土砂の粒が細かく、水が得やすいため水田に適しています。
問4	答え 4 噴火によって地下のマグマが大量に放出されたあと、地表が自重で陥没して大規模なくぼ地となったもの。	大規模な噴火が起こると地下のマグマだまりが空になり、支えを失った上部の地盤が崩れ落ちることで巨大なくぼ地が生まれます。火山灰の堆積による台地はシラス台地、階段状の地形は河岸段丘を指します。
問5	答え 4 カルデラ	火山の活動によって形成される地形で、大規模な噴火により地下に空洞ができ、そこが重みで沈み込む（陥没する）ことで広大な凹地となります。ポルトガル語で「鍋」を意味する言葉が語源です。阿蘇山のものは世界最大級の規模を誇り、窪地の中には平地が広がり、多くの人々が生活したり、鉄道が通ったりしています。
問6	答え 2 扇状地	山地を流れる急峻な河川が平地に出る際、勾配が急に緩やかになるため、水の運搬力が弱まり土砂が積もります。このとき、谷口を中心に扇を開いたような形で堆積が進むため、扇状地と呼ばれます。河口付近にできる三角州と混同されやすいため注意が必要です。
問7	答え 1 断面図と呼び、直線が等高線と交わる地点の標高を読み取り、高さの目盛りに対応させてつなぐ。	地形図上の二地点間の起伏を可視化したものを断面図といいます。作成にあたっては、地形図に引いた直線と等高線が交差するポイントごとに標高を確認し、それを垂直方向の高さを示すグラフにプロットして滑らかな線で結ぶことで、実際の山の傾斜や谷の深さを表現します。
問8	答え 4 日本海側のように冬に降水量が増えることも、太平洋側のように夏に降水量が増えることもなく、年間を通じて降水量が少ない。	瀬戸内の気候を他の地域と比較すると、季節による降水量の変動が小さいという特徴があります。日本海側の気候は冬に降水量（雪）が増え、太平洋側の気候は夏から秋にかけて降水量が増えますが、瀬戸内ではそれらの湿った空気が周囲の山地でカットされるため、年間を通じて降水量が100ミリメートル前後と低く推移します。この少雨という気候的背景から、かつては塩田による塩作りや、ため池を利用した農業が盛んに行われてきました。
問9	答え 4 カルデラ	火山の噴火プロセスにおいて、マグマが噴出したあとの地下の空洞に地表が落ち込むことで巨大なくぼ地が形成されます。この地形をカルデラと呼び、スペイン語で「鍋」を意味する言葉に由来しています。北海道の洞爺湖や九州の阿蘇山などが有名です。
問10	答え 3 リアス海岸	起伏に富んだ山地が沈水（地盤の沈下または海面の上昇）することによって生じる地形です。スペイン北西部のリアス・バイシャス海岸が語源となっており、日本では岩手県の三陸海岸南部や三重県の志摩半島、福井県の若狭湾周辺などに典型的な地形が見られます。非常に入り組んだ海岸線を持つのが最大の特徴です。
問11	答え 4 日本海側の気候	冬に北西から吹く季節風が日本海を渡る際に湿気を蓄え、日本の背骨となる山脈にぶつかると、日本海側に雪や雨をもたらします。このため、雨温図では1月や12月の降水量が突き出して多くなる特徴があります。
問12	答え 2 河川が運んできた砂や泥が河口付近に積もってきた地形で、水が得やすいため水田や都市として利用されることが多い。	三角州は河口付近に形成されるため、標高が極めて低く平坦であり、水害のリスクはありますが水利が良いのが特徴です。そのため、古くから水田として、現代では大規模な都市（岐阜市の中心部や広島市など）として開発されてきました。一方、山地から平地に出る場所にできるのは扇状地、周囲より一段高いのは台地です。
問13	答え 2 黒潮	日本の南から太平洋側に沿って北上する暖流は黒潮（日本海流）です。この海流は透明度が高いため、海の色が黒っぽく見えることからその名がつけました。対馬海流も暖流ですが、こちらは日本海側を流れる海流であるため、太平洋側を流れる黒潮とは区別する必要があります。
問14	答え 3 糸魚川・静岡構造線	フォッサマグナはラテン語で「大きな溝」を意味し、日本列島が形成される過程で生じた地質的な境界です。その西端を画する境界線は、新潟県の糸魚川市から長野県を経て静岡市付近まで伸びており、これを「糸魚川・静岡構造線」と呼びます。よく混同される中央構造線は、西日本を縦断する別の巨大な断層帯です。

- 問1 瀬戸内海に面した地域では、1月と7月の両方において降水量が少なく、年間を通じて雨が少ない傾向があります。このような気候の特色がみられる主な理由を説明したものと、最も適切なものを選んでください。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 一年を通じて勢力の強い高気圧に覆われ、上昇気流が発生しにくいいため。 | 2. 季節風が、中国山地や四国山地などの山地によってさえぎられるため。 | 3. 冬の北西の季節風が湿った空気を運び、中国山地の斜面で雨を降らせるため。 | 4. 暖流である対馬海流の影響を強く受け、気温が上昇して乾燥するため。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問2 大分県別府市の鶴見岳周辺の地形データにおいて、火口から北側へ流下すると予測される溶岩流の進路が、ある地点から東側へと大きく曲がっています。このように溶岩流が流れる方向を変える理由として、地形と溶岩の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 噴火時に吹く風の影響を強く受けるため、上空の風向きが北風から西風に変化したことに伴って溶岩の流る向きも東へと変わった。 | 2. 溶岩流は粘り気が強いので、傾斜が急な場所では等高線を横切らず、等高線に沿って標高が高い場所を維持するように流れた。 | 3. 溶岩流は地表面の温度が高い場所を好んで流れるため、地熱が低い谷間を避け、地熱が高い尾根筋に沿って進路を変えた。 | 4. 溶岩流は重力の影響を受け、周囲の土地より低い場所を選んで流れる性質があるため、谷などの地形に沿って進路が変わった。 |
|--|--|--|--|
- 問3 新潟県付近のように、冬の降水量が月間200mmを超えるなど、冬に湿潤で夏に晴天が多い気候の特徴が生じる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 冬の北西季節風が日本海で水蒸気を補給し、山脈の風上側で雪を降らせる一方、夏は山を越えた乾いた風の影響を受けるため。 | 2. 夏の南東季節風が太平洋から湿った空気を運び、日本海側まで到達して長期間の雨を降らせるため。 | 3. 周囲を高い山々に囲まれた盆地状の地形であり、季節風の影響を受けにくく、年間を通じて降水量が少ないため。 | 4. 一年を通じて偏西風の影響を強く受け、大陸からの乾燥した空気が常に供給されることで夏と冬の寒暖差が生まれるため。 |
|--|--|--|--|
- 問4 自然災害による被害が予想される区域や、避難場所・避難経路などの情報を住民に知らせるために作成された地図を何とといいますか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|------------|
| 1. 路線図 | 2. 等高線図 | 3. 地形図 | 4. ハザードマップ |
|--------|---------|--------|------------|
- 問5 各自治体が作成・公表している、地震や洪水などの自然災害が発生した際に被害が及ぶ可能性のある範囲や、避難場所・避難経路などの情報をまとめた地図を何と呼びますか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|---------|--------|----------|
| 1. ハザードマップ (被害想定地図) | 2. 等高線図 | 3. 地形図 | 4. 土地利用図 |
|---------------------|---------|--------|----------|
- 問6 三重県の志摩半島付近に代表されるような、複雑に海岸線が入り組んだ地形について、その名称と産業上の特徴を説明したものと最も適切なものはどれか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 砂丘と呼ばれ、強い風を利用した風力発電や観光地としての利用が中心となっている。 | 2. リアス海岸と呼ばれ、入江の中は波が穏やかであるため真珠やカキなどの養殖業に適している。 | 3. 扇状地と呼ばれ、水はけがよいので果樹園や畑として利用されることが多い。 | 4. 三角州と呼ばれ、土地が平坦で水分が豊富であるため稲作が盛んに行われている。 |
|--|--|--|--|
- 問7 三陸海岸の南部などに見られる、陸地が沈降して谷間に海水が入り込み形成された、のこぎりの歯のような複雑な形状の海岸を何というか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|----------|
| 1. 扇状地 | 2. 砂州 | 3. 干拓地 | 4. リアス海岸 |
|--------|-------|--------|----------|
- 問8 夏から秋にかけての降水量が非常に多く、年間の総降水量が二千ミリメートル近くに達する地域が見られます。このような「太平洋側の気候」において、特定の時期に降水量が急増する主な要因として正しい説明はどれですか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 暖流である対馬海流の影響で、冬の間に雪雲が発達しやすいため | 2. 冬に北西から吹く湿った季節風が山地を越えてくるため | 3. 夏に南東から吹く湿った季節風や、台風の影響を強く受けるため | 4. 周囲を高い山に囲まれ、湿った空気が入り込みにくいいため |
|----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
- 問9 太平洋を囲むように分布し、日本列島もその一部に含まれる造山帯の特徴として、最も適切な説明はどれですか。複数のプレートが重なり合う境界付近に位置していることを考慮して選んでください。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 安定陸塊と呼ばれ、地殻が非常に安定しているため、大規模な地震や火山活動はほとんど見られない。 | 2. 古期造山帯に分類され、長期間の侵食を受けたことによって、なだらかな山地や高原が広がっている。 | 3. アルプス・ヒマラヤ造山帯に含まれ、ヨーロッパからアジアを横断して日本まで続いている。 | 4. 新期造山帯に分類され、地殻変動が活発なため、険しい山脈や火山が多く地震も頻繁に発生する。 |
|---|---|---|---|
- 問10 日本近海の地図において、北海道や東北地方の太平洋側に沿って北から南下してくる海流が示されている場合、この寒流の名称として適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|----------|--------------|---------|
| 1. 親潮 (千島海流) | 2. リマン海流 | 3. 黒潮 (日本海流) | 4. 対馬海流 |
|--------------|----------|--------------|---------|
- 問11 三陸海岸の一部を上空から観察すると、海が陸地の奥深くまで入り込み、複雑な海岸線を描いていることがわかります。このような地形が持つ、防災上の特徴に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 海岸線が直線的で遠浅であるため、波のエネルギーが分散し、津波による被害が軽減されやすい。 | 2. 海岸沿いに階段状の平地が広がっているため、波が陸地に到達する前に威力が弱まりやすい。 | 3. 沿岸に砂が堆積してできた砂礁があるため、それが防波堤の役割を果たして浸水を防ぎやすい。 | 4. 湾の入り口が広く奥に向かって狭まっているため、津波のエネルギーが集中して波が高くなりやすい。 |
|---|---|--|---|
- 問12 日本の気候区分において、太平洋側の気候に見られる「冬に晴天が多く、乾燥する」という仕組みの背景にある、地形と気流の関係を説明したものと最も適切なものを選びなさい。 (2017年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 太平洋側を流れる暖流によって空気が温められ、上昇気流が発生することで雲が消散し、乾燥した天気が続くため。 | 2. 瀬戸内海沿岸と同様に、北側の中国山地と南側の四国山地の両方によって湿った季節風が遮断されるため。 | 3. 冬になるとシベリア高気圧が南下し、太平洋の湿った空気が日本列島に到達するのを完全に遮断してしまうため。 | 4. 冬の季節風が中央の山地を越える際、日本海側に水分を落としたあと、乾いた風となって太平洋側に吹き降するため。 |
|---|---|--|--|
- 問13 日本海側の地域において、冬の降水 (降雪) 量が多くなるメカニズムを説明したものと、最も適切なものはどれか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 冬に南東から吹く季節風が、太平洋を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈を越えた後の日本海側で乾燥した空気を送る。 | 2. 一年中吹く偏西風が、日本海流 (黒潮) によって温められた水蒸気を直接運び込み、冬の山沿いに雨をもたらす。 | 3. 冬に北西から吹く季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかって上昇することで雪を降らせる。 | 4. 赤道付近で発生した低気圧が日本海を北上し、暖かく湿った空気を山脈にぶつけることで大量の雪を降らせる。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 季節風が、中国山地や四国山地などの山地によってさえぎられるため。	瀬戸内の気候が年間を通じて温暖で降水量が少ないのは、北側の中国山地と南側の四国山地に挟まれているためです。夏は太平洋からの湿った南東の季節風が四国山地に、冬は日本海からの湿った北西の季節風が中国山地にさえぎられ、その山を越えた乾燥した空気が流れ込むことが、降水量の少なさにつながっています。
問2	答え 4 溶岩流は重力の影響を受け、周囲の土地より低い場所を選んで流れる性質があるため、谷などの地形に沿って進路が変わった。	溶岩流は液体状の物質が流出する現象であるため、水と同様に重力に従って標高の高い所から低い所へと流れます。地形図において等高線が山頂側（高い方）に食い込んでいる部分は谷や窪地を指しており、周囲の土地より低い地形となっています。このため、流下途中にこうした低い地形が存在すると、溶岩流はそこを流路として進むため、地形の起伏に合わせて進路が変化します。
問3	答え 1 冬の北西季節風が日本海で水蒸気を補給し、山脈の風上側で雪を降らせる一方、夏は山を越えた乾いた風の影響を受けるため。	日本海側の地域では、冬は北西からの季節風が日本海で水分を得て雪を降らせるため、降水量が非常に多くなります。逆に夏は、太平洋から吹く南東の季節風が中央の山脈で水分を落とした後に吹き下ろしてくるため、晴天の日が多くなり、気温も上昇しやすい（フェーン現象が発生することもある）というメカニズムになっています。
問4	答え 4 ハザードマップ	災害が発生した際の被害予測（浸水する範囲や土砂災害の危険性など）と、避難に関する情報を1つの地図にまとめたものです。住民が事前に地域の危険度を把握し、迅速な避難行動につなげる役割を持っています。
問5	答え 1 ハザードマップ（被害想定地図）	自然災害による被害の予測範囲や程度、避難場所などの情報をあらかじめ住民に提供することで、迅速かつ安全な避難を支援することを目的としています。地形図や等高線図は地表の形態を正確に表すためのものであり、災害予測に特化したハザードマップとは役割が異なります。
問6	答え 2 リアス海岸と呼ばれ、入江の中は波が穏やかであるため真珠やカキなどの養殖業に適している。	三重県の志摩半島や岩手県の三陸海岸南部に見られるような、山地が沈水してできた複雑な凹凸を持つ海岸線をリアス海岸と呼びます。この地形は入り組んだ入江によって外海からの波が遮られるため、波が非常に穏やかになるという特性があります。そのため、真珠やカキ、ワカメなどの養殖いかだを設置するのに非常に適した環境となっており、古くから水産業が発展してきました。扇状地や三角州は川の流れによって土砂が堆積してできた地形で、海岸線の形状を指す用語ではありません。
問7	答え 4 リアス海岸	山地が海に沈んだり海面が上昇したりすることで、谷だった部分に海水が入り込んで形成されます。海岸線が複雑に入り組んでいるのが特徴で、波が静かな湾内では養殖業が盛んですが、津波の被害を受けやすい地形でもあります。
問8	答え 3 夏に南東から吹く湿った季節風や、台風の影響を強く受けるため	太平洋側の地域では、夏に太平洋側から吹き込む湿った季節風が山地にあたって上昇気流が発生し、雨を降らせます。また、夏から秋にかけては台風や梅雨前線の影響をダイレクトに受けるため、この時期に降水量が集中します。これに対し、冬は山を越えた後の乾燥した風が吹くため、晴天が続く乾燥するのが特徴です。
問9	答え 4 新期造山帯に分類され、地殻変動が活発なため、険しい山脈や火山が多く地震も頻繁に発生する。	日本列島が位置する環太平洋造山帯は、中生代以降の比較的新しい時代に形成が始まった「新期造山帯」です。海洋プレートと大陸プレートがぶつかり合う境界に位置するため、現在も地殻変動が激しく、標高の高い山脈が形成されるとともに、マグマの供給による火山活動や、プレートのひずみに起因する地震が非常に多く発生するという特徴があります。
問10	答え 1 親潮（千島海流）	北海道や東北地方の太平洋側を千島列島沿いに南下してくる寒流は親潮（千島海流）と呼ばれます。この海流はプランクトンを豊富に含んでおり、三陸沖で暖流の黒潮とぶつかります。リマン海流は日本海側を南下する寒流、対馬海流は日本海側を北上する暖流です。
問11	答え 4 湾の入り口が広く奥に向かって狭まっているため、津波のエネルギーが集中して波が高くなりやすい。	リアス海岸特有の、奥に細長く入り込んだ湾の形状が、津波の被害を大きくする要因となります。沖合から押し寄せた津波が湾の奥へ進むにつれて、湾の幅や水深が減少していくため、波のエネルギーが狭い範囲に集中し、波高が急激に増大して甚大な被害をもたらすことがあります。
問12	答え 4 冬の季節風が中央の山地を越える際、日本海側に水分を落としたあと、乾いた風となって太平洋側に吹き降るため。	日本の太平洋側の冬の気候を決定づけるのは、日本列島の中央部を走る山地・山脈の存在です。大陸から吹き付ける湿った北西の季節風は、これらの山地にぶつかり、日本海側に雪や雨を降らせます。水分を失った気流が山を越えて太平洋側に吹き降りる際、乾燥した下降気流となるため、雲ができにくく晴天が続くという因果関係があります。これが太平洋側の気候の大きな特徴です。
問13	答え 3 冬に北西から吹く季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかって上昇することで雪を降らせる。	日本の冬は、シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風の影響を強く受けます。この季節風が比較的温暖な日本海の上を通過する際、大量の水蒸気を吸収します。水分を含んだ湿った空気が日本の背骨にあたる奥羽山脈や三国山脈などの高い山々にぶつかって上昇し、冷却されることで雪となって降ります。そのため、山脈の西側に位置する日本海側の地域では、冬の降水量が非常に多くなるという特徴があります。

- 問1 東日本大震災の教訓を伝える「女川いのちの石碑」は、津波が到達した地点よりも高い場所に設置されています。このように、震災の経験を物理的な形にしてまちづくりに活用する取り組みについて、その背景にある考え方として適切なものはどれですか。（2026年 長野県公立入試 類似）
- 避難の目標地点を視覚的に明示することで、災害時に住民が迅速かつ適切な判断を下せるようにする考え方
 - 石碑を観光資源として活用することで、震災前よりも観光客を増やして町の財政を立て直すことを最優先とする考え方
 - 建物の再建が難しい浸水域をすべて更地にし、居住を禁止して公園化を進めるための法的な境界線とする考え方
 - 自然災害の発生を完全に防ぐことは不可能であるため、避難を諦めて定住を促進する対策を講じる考え方
- 問2 日本の地形に関する学習レポートにおいて、火山活動によって地下のマグマが地上へ噴出した後、地下の空洞が重みに耐えきれず崩落・陥没することで形成された、大規模な鉢状のくぼ地を指す名称として適切なものはどれか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- 扇状地
 - カルデラ
 - 三角州
 - シラス台地
- 問3 冬の北西の季節風が吹くとき、日本海側では大雪となる一方で、関東地方などの太平洋側では乾燥した晴天の日が多くなります。このように太平洋側で乾燥した晴れの日が続く理由を、地形の影響に着目して説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 長野県公立入試 類似）
- 太平洋側から吹き込む湿った季節風が、冬の強い寒気に触れることで雲を消滅させてしまうため
 - 大陸から吹く風が山脈に遮られるため、太平洋側には風そのものが届かなくなり、空気が滞留するため
 - 大陸からの冷たい風が日本海で水蒸気を蓄えたあと、山脈を越える際に日本海側に雪を降らせて水分を失うため
 - 日本海側で雪を降らせた後の風が、太平洋の暖かい黒潮から湿った空気を取り込んで上昇気流を作るため
- 問4 日本の東側の海域に関する記述において、千島列島に沿って北から南へと流れる寒流であり、栄養分が豊富なことから魚の餌となるプランクトンを多く運んでくる海流の名称を選択してください。（2018年 千葉県公立入試 類似）
- 親潮（千島海流）
 - 対馬海流
 - 黒潮（日本海流）
 - リマン海流
- 問5 火山噴火時の降灰範囲や土砂崩れの危険箇所、避難所などを地図上に示し、自然災害による被害を予測して小さくすることを目的として作成された地図を何というか。（2018年 北海道公立入試 類似）
- ハザードマップ
 - 地形図
 - 土地利用図
 - 路線図
- 問6 宇治川のような大きな河川の周辺において、過去に建物が浸水するほどの被害があった際、被害を免れた地点の地形的な特徴を地形図から読み取る方法として、最も適切なものはどれですか。（2024年 長崎県公立入試 類似）
- 等高線の間隔が非常に狭く、急な傾斜地となっている山の斜面にある地点を確認する。
 - 河川のすぐ横に位置し、等高線の間隔が非常に広くて平坦な土地であることを確認する。
 - 標高が周囲よりもわずかに高く、地形図上で等高線が閉じた曲線を描いているような微高地を探す。
 - 周囲を山に囲まれ、等高線の数値が周囲よりも小さくなっている盆地のような場所を探す。
- 問7 日本周辺の海底地形において、水深が約200メートルまでの平坦な広がりを持つ「大陸棚」の特徴として、水産業の観点から最も適切な説明はどれですか。（2024年 和歌山県公立入試 類似）
- 水深が数千メートルに達し、プレートの沈み込みによって深い溝になっているため、深海魚の宝庫である
 - 水温が極めて低く光が全く届かないため、プランクトンの増殖が抑えられ透明度が高い
 - 海底からマグマが噴き出し山脈のように連なっているため、魚が産卵する場所がない
 - 太陽光が海底付近まで届きやすくプランクトンが豊富であるため、好漁場になりやすい
- 問8 愛媛県八幡浜市周辺の統計資料や地図情報によると、等高線の間隔が非常に狭い急斜面と、間隔が比較的広い緩斜面が混在する地形が見られます。このような地域において、等高線の間隔が広い場所で最も盛んに行われている農業形態として適切なものはどれですか。（2022年 静岡県公立入試 類似）
- 標高の高さを活かした高原野菜の栽培
 - ミカンなどの果樹栽培
 - 豊富な水を利用した稲作（水田）
 - 平坦な土地を活かした大規模な畜産業
- 問9 本州の中央部に位置し、標高3000メートル級の山々が連なる飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つの山脈を合わせた総称として適切なものはどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）
- 日本アルプス
 - 奥羽山脈
 - 中国山脈
 - 四国山脈
- 問10 三重県の志摩半島などの沿岸部に見られる、山地が沈降したり海面が上昇したりすることで形成された、複雑に入り組んだ鋸歯状の海岸線を何といいますか。（2023年 石川県公立入試 類似）
- 三角州
 - 砂州
 - リアス海岸
 - 干拓地
- 問11 地形図から読み取れる土地の傾斜や道路の形状について述べた次の文のうち、記述として正しいものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）
- 等高線の数値が進行方向に向けて小さくなっていれば登り坂であり、道が三叉に分かれていれば十字路の交差点である。
 - 等高線の間隔が進行方向に向けて広がっていれば急な登り坂であり、道が四方に分かれていれば丁字形の交差点である。
 - 等高線の数値が進行方向に向けて大きくなっていれば登り坂であり、道が三叉に分かれていれば丁字形の交差点である。
 - 等高線の間隔が非常に狭くなっていれば平坦な土地であり、道が直角に交わっていれば必ず丁字形の交差点である。
- 問12 日本列島の地質構造に関する説明として、フォッサマグナの特徴を正しく述べたものはどれですか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
- 火山活動によって噴出した溶岩が積み重なってできた、標高の高い山脈地帯のことである
 - 糸魚川・静岡構造線を西端とする、日本列島を地質的に南北（東西）に分断する巨大な凹地である。
 - 関東地方から九州地方までを内帯と外帯に分ける、日本最大級の断層のことである。
 - プレートの沈み込みによって形成された、列島に沿って分布する細長い海溝のことである。
- 問13 日本の太平洋側の気候において、冬に晴天の日が多くなり乾燥した風が吹く仕組みについて、地形と季節風の関係から説明したものとして正しいものはどれですか。（2019年 高知県公立入試 類似）
- 北西からの季節風が日本海側で雪を降らせた後、水分を失って山脈を越えてくるため
 - 南東からの季節風が太平洋で発生した上昇気流を伴い、山脈を越えて冷え込むため
 - シベリア高気圧から吹き出す風が、太平洋上で発生する低気圧を日本海側へと押し戻すため
 - 日本海を流れる暖流によって温暖れた空気が、山脈を越えられずに太平洋側に停滞するため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 避難の目標地点を視覚的に明示することで、災害時に住民が迅速かつ適切な判断を下せるようにする考え方	防災において、ハザードマップなどの情報共有とともに、現地に具体的な避難の目安（石碑）を設置することは、心理的な迷いを減らし迅速な避難行動に繋がります。これは、ハード面の対策（防潮堤など）だけでなく、人々の意識や行動に働きかけるソフト面の防災対策を組み合わせたまちづくりの具体例と言えます。
問2	答え 2 カルデラ	火山の爆発的な噴火によって大量のマグマが地上に放出されると、地下に巨大な空洞が生じます。この空洞が崩落することで、通常の火口よりもはるかに大規模な窪地が形成されます。熊本県の阿蘇山や北海道の屈斜路湖などは、この地形の代表的な例として知られています。
問3	答え 3 大陸からの冷たい風が日本海で水蒸気を蓄えたあと、山脈を越える際に日本海側に雪を降らせて水分を失うため	シベリア大陸から吹き出す冷たく乾燥した季節風は、日本海を渡る際に暖流（対馬海流）の影響で水蒸気を補給します。この湿った風が日本列島中央の山脈にぶつかって上昇し、日本海側に雪を降らせます。その後、水分を失って乾燥した空気が山を越えて太平洋側に吹き降ろすため、冬の関東地方などは乾燥した晴天となります。
問4	答え 1 親潮（千島海流）	千島列島に沿って南下してくるため千島海流とも呼ばれる寒流です。この海流はプランクトンを豊富に含んでおり、日本の太平洋側の漁業において重要な役割を果たしています。日本海側を流れる寒流であるリマン海流との混同に注意が必要です。
問5	答え 1 ハザードマップ	自然災害による被害を軽減（減災）するために、被災想定区域や避難場所、避難経路などを予測して表示した地図のことです。「防災マップ」とも呼ばれます。地形図は地形や土地の様子を表したもので、路線図は交通機関の経路を表したものであり、目的が異なります。
問6	答え 3 標高が周囲よりもわずかに高く、地形図上で等高線が閉じた曲線を描いているような微高地を探す。	浸水被害を避けるためには、周囲の土地よりも標高が高い場所を選ぶことが鉄則です。地形図において等高線が円のように閉じている場所や、数値から周囲より高いことが確認できる地点は、氾濫した水が到達しにくい「微高地」であることがわかります。宇治川のような河川沿いの地域では、こうしたわずかな土地の高低差が防災上の重要な判断基準となります。
問7	答え 4 太陽光が海底付近まで届きやすくプランクトンが豊富であるため、好漁場になりやすい	大陸棚は水深が浅いため、光合成を行う植物プランクトンが活発に増殖します。これを餌とする小さな魚や、さらにそれを食べる大きな魚が集まるため、好漁場（バンク）が形成されます。一方で、選択肢にある深い溝状の地形は「海溝」と呼ばれ、大陸棚とは異なる特徴を持ちます。
問8	答え 2 ミカンなどの果樹栽培	八幡浜市周辺はリアス海岸が続く山がちな地形で、急斜面が多く存在します。その中で、等高線の間隔が周囲より広がっている緩斜面は、排水性が良く農作業もしやすいため、古くからミカンなどの果樹園として土地利用されてきました。水田はより平坦な土地や水の得やすい場所に作られるため、この地形条件では果樹栽培が一般的です。
問9	答え 1 日本アルプス	飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の3つは、その険しさから「日本の屋根」とも呼ばれます。明治時代にイギリス人技師のガウランドが名付け、小島烏丸らによって広められました。これらは本州の中央部で南北に連なり、日本の地形の骨格をなしています。
問10	答え 3 リアス海岸	山地が海に沈む「沈降」などの地殻変動や、地球規模の海面上昇によって、かつての谷の部分に海水が入り込むことで形成されます。複雑な形状の海岸線は波が穏やかになりやすく、古くから天然の良港として利用されたり、真珠やカキなどの養殖業が盛んに行われたりしてきました。
問11	答え 3 等高線の数値が進行方向に向けて大きくなっていれば登り坂であり、道が三叉に分かれていれば丁字形の交差点である。	等高線は標高の等しい地点を結んだ線であり、その数値が増える方向に進むことは標高が上がる「登り坂」を意味します。また、アルファベットの「T」の字のように道が三叉に分かれている形状を「丁字形」と呼び、四方に分かれている「十字路」と区別して読み取ることが重要です。
問12	答え 2 糸魚川・静岡構造線を西端とする、日本列島を地質的に南北（東西）に分断する巨大な凹地である。	フォッサマグナは単なる「線」ではなく、古い地層の上に新しい地層が厚く堆積している「地質的な溝（領域）」を指します。この領域の西側の境界線が糸魚川・静岡構造線です。選択肢にある「内帯と外帯に分ける断層」は中央構造線の説明であり、これと混同しないよう注意が必要です。
問13	答え 1 北西からの季節風が日本海側で雪を降らせた後、水分を失って山脈を越えてくるため	冬になるとシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この風は日本海を渡る際に水分を蓄えますが、日本列島の中央にある山脈にぶつかり、日本海側に雪や雨を降らせます。その後、水分を失って乾燥した空気が山脈を越えて太平洋側に吹き降ろすため、太平洋側では冬に乾燥した晴天が続くこととなります。

- 問1 日本の気候に適應した人々の生活の工夫について、山形県に見られる「階段が設置され床面が高くなっている電話ボックス」の説明として、地域の自然環境と関連付けて述べたものを選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 火山灰が降り積もる地域において、灰が室内に侵入するを防ぐための工夫である | 2. 冬に大量の積雪がある地域において、雪に埋もれずに出入り口を確保するための工夫である | 3. 季節風が強い地域において、風による建物の転倒を防止するための工夫である | 4. 台風の通り道となる地域において、高潮による冠水から施設を守るための工夫である |
|---|--|--|---|
- 問2 夏の東北地方の太平洋側において、オホーツク海高気圧から陸地に向かって吹き込む冷たく湿った北東の風を何と呼びますか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-----------|--------|
| 1. からっ風 | 2. 季節風 | 3. フェーン現象 | 4. やませ |
|---------|--------|-----------|--------|
- 問3 新潟県の佐渡島、沿岸部、内陸の山間部における冬の降雪量の特徴を比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 暖流の影響を直接受けるのは海岸線であるため、佐渡島から沿岸部、山間部へと内陸に進むにつれて降雪量は減少していく。 | 2. 日本海側では平地ほど気温が低くなりやすいため、内陸の山間部よりも、佐渡島や沿岸部の平野部で雪が降りやすくなる。 | 3. 季節風は海に近いほど水分を多く含んでいるため、内陸の山間部よりも佐渡島のほうが圧倒的に降雪量が多くなる。 | 4. 湿った季節風が標高の高い山々にぶつかることで上昇気流が強まるため、内陸の山間部で最も降雪量が多くなる。 |
|---|--|---|--|
- 問4 新潟県長岡市のように、12月や1月といった冬の時期に降水（降雪）量が突出して多くなる「日本海側の気候」において、冬に多くの降水をもたらす主な要因は何ですか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 1. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った風が、直接吹き込むため。 | 2. 夏に発生した台風が日本海側に停滞し、冬まで湿った空気を供給し続けるため。 | 3. 北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかって上昇するため。 | 4. 南東の季節風が山脈を越える際にフェーン現象を引き起こし、雲を発生させるため。 |
|--------------------------------------|---|---|---|
- 問5 川が山間部から盆地へ抜ける出口付近に形成される地形は、堆積した土砂の粒が大きく、水が地下にしみ込みやすいという性質を持っています。この地形において、水田よりも果樹園としての利用が盛んである理由として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 河口付近の栄養豊富な細かい泥が堆積しており、果樹の成長に必要な肥料成分が極めて多いから | 2. 土砂の粒が大きく水はけが良すぎるため、地表に水を溜めておく必要がある稲作には適さないから | 3. 平地が少なく傾斜が急であるため、機械を導入した大規模な米作りを行うことが物理的に不可能だから | 4. 標高が非常に高く、気温が低いために稲が十分に育たず、寒さに強い果物の栽培が選ばれたから |
|--|---|---|--|
- 問6 山地から平地へと川が流れ出る場所に土砂が堆積してできた扇状地では、その土地の性質を反映した利用がなされています。扇状地の多くが、水田よりも果樹園や畑として利用されてきた理由を、堆積した土砂の性質に着目して説明したものを選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 堆積した土砂が細かく固まっているため、根が深く張りやすいから | 2. 土砂に肥料が多く含まれており、果実の糖度を高めるから | 3. 周囲の地形に比べて標高が低く、冷たい水が溜まりやすいから | 4. 土砂の隙間が大きく水はけが良いため、水を溜めておくのが難しいから |
|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
- 問7 大分県別府市の境川河口付近において、昭和五十年代と平成二十五年の二枚の二万五千分の一地形図を比較した際に読み取ることができる、都市開発に伴う人工的な景観の変化として正しいものはどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|---|---|--------------------------------------|
| 1. 河口付近が直線的に埋め立てられ、海上に新たな橋が建設された | 2. 自然環境を復元するために、既存の橋を撤去して河口を昭和以前の形状に戻した | 3. 防災機能を強化するため、河口付近の住宅地を撤去して警察署や消防署が設置された | 4. 食料不足を解消するために、沿岸部の埋め立て地に広大な田畑が作られた |
|----------------------------------|---|---|--------------------------------------|
- 問8 熊本県にある阿蘇山の周辺で見られる、噴火によって形成された広大な窪地（カルデラ）の地形的特徴と、そこでの人々の暮らしに関する説明として最も適切なものはどれか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. カルデラの中には広大な草原が広がっており、肉用牛の放牧などが盛んに行われている。 | 2. カルデラの急斜面を利用して、段々畑でのみかんやレモンなどの果樹栽培が盛んである。 | 3. カルデラは水はけが良すぎるため、シラス台地としてサツマイモの栽培が中心となっている。 | 4. カルデラ内の石灰岩が雨水で溶食されたことで、カルスト台地と呼ばれる独特の景観が広がっている。 |
|---|---|---|---|
- 問9 地形と防災の関係について述べた次の文のうち、地下鉄の駅における「浸水防止対策」の説明として正しいものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 標高が低い地域の地下鉄駅において、入り口を高く設計することで洪水の流入を防ぐ工夫 | 2. 地滑りが発生しやすい傾斜地の駅において、ホームを地下深くへ設置する工夫 | 3. 土石流の被害が懸念される山間部の駅において、駅の周囲に防護壁を設置する工夫 | 4. 液状化現象が予想される臨海部の駅において、建物の基礎を岩盤まで打ち込む工夫 |
|---|--|--|--|
- 問10 日本の四季折々の年中行事は、それぞれの時期や目的が深く結びついています。次の説明のうち、内容が正しいものを選びなさい。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 五月に行われるひな祭りは、女の子の成長を願って雛人形を飾る行事である。 | 2. 十一月に行われる七五三は、三歳・五歳・七歳の子供の成長を祝う伝統行事である。 | 3. 四月に行われる灌仏会は、秋の収穫に感謝するために全国の農村で行われる行事である。 | 4. 三月に行われる端午の節句は、男の子の成長を願って鎧や兜を飾る行事である。 |
|--|---|---|---|
- 問11 三重県の志摩半島や三陸海岸南部に見られる複雑な海岸線は、その形状から「波が穏やかである」という特徴があります。この特徴を活かして盛んに行われている産業と、その理由の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 砂浜海岸での観光業：遠浅の海岸が続く、大規模な海水浴場を整備しやすいため。 | 2. 大規模な稲作：背後に広大な平坦な土地が広がり、機械化しやすいため。 | 3. 重化学工業のコンビナート：海岸線が直線的で、大型船が高速で巡航しやすいため。 | 4. 真珠やカキの養殖業：入り江が深く、外海の荒波の影響を受けにくいため。 |
|--|--------------------------------------|---|---------------------------------------|
- 問12 岡山市、大津市、富山市、松山市、鹿児島市など、地形や地理的条件が異なる各地の自治体が作成している「ハザードマップ」の内容について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 各世帯の正確な位置を把握し、郵便物の配達や選挙の投票所の割り当てを効率化するために作成されている。 | 2. 住宅地、商業地、工業地などの土地の利用状況を色分けし、将来の都市開発の制限を示すために作成されている。 | 3. 等高線を用いて土地の起伏を正確に表し、主に登山や土木工事の計画を立てるために作成されている。 | 4. 火山灰の降下範囲や土石流の危険性、洪水の浸水想定区域など、地域の特性に応じた情報が記載されている。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 冬に大量の積雪がある地域において、雪に埋もれずに出入り口を確保するための工夫である	山形県などの積雪地域では、一晩で数十センチメートル以上の雪が積もることがあります。このような環境下で公共施設を維持するためには、雪が積もることを前提とした設計が必要です。床面を高くする工夫は、除雪が追いつかない状況でも施設としての機能を維持するための、積雪地域特有の知恵と言えます。
問2	答え 4 やませ	夏の東北地方の太平洋側では、北のオホーツク海で発達した高気圧から、湿った冷たい空気が北東風となって流れ込むことがあります。この風を「やませ」と呼び、数日間にわたって吹き続けると気温が上がらず、濃霧が発生することもあります。
問3	答え 4 湿った季節風が標高の高い山々にぶつかることで上昇気流が強まるため、内陸の山間部で最も降雪量が多くなる。	地形と降雪量の関係において、上昇気流の発生が重要な鍵となります。日本海を渡ってきた湿った季節風は、佐渡島や沿岸部のような平坦な場所では雲が十分に発達しきれず、降雪量は限定的です。しかし、内陸にある標高の高い山地にぶつかると、強制的に強い上昇気流が発生して厚い雪雲が作られるため、山間部の降雪量は沿岸部よりも圧倒的に多くなります。
問4	答え 3 北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかって上昇するため。	冬になるとシベリア高気圧から冷たく乾燥した北西の季節風が吹きます。この風が日本海を渡る際に、対馬暖流の影響で蒸発した水分を大量に蓄えます。水分を含んだ空気が日本列島中央の山脈にぶつかって上昇することで雲が発達し、日本海側に大雪や雨をもたらします。
問5	答え 2 土砂の粒が大きく水はけが良すぎるため、地表に水を溜めておく必要がある稲作には適さないから	扇状地は、川が運んできた砂や小石が堆積してできた地形です。堆積物の隙間が大きいいため、雨水や河川水が地下へと深く染み込んでしまう「水はけが良い」状態になります。米作り（稲作）には田んぼに水を張る必要がありますが、扇状地では水がすぐに抜けてしまうため、水田には適しません。一方で、果樹は乾燥した土壌でも育ちやすいため、山梨県の甲府盆地などに代表されるように、扇状地はブドウや桃などの果樹園として最適の土地となります。
問6	答え 4 土砂の隙間が大きく水はけが良いため、水を溜めておくのが難しいから	扇状地などの堆積地形は、粒の大きい砂や礫が積もってできているため「水はけ」が非常に良いのが特徴です。水田を作るには地表に水を溜める必要がありますが、水がすぐに地下へ浸透してしまう扇状地では水田開発が困難でした。一方で、水はけの良さを好むブドウやモモなどの果樹栽培や畑作には適していたため、現在のような土地利用が広がりました。
問7	答え 1 河口付近が直線的に埋め立てられ、海上に新たな橋が建設された	都市の発展に伴い、限られた平地を拡張するために沿岸部の埋め立てが行われることがあります。大分県別府市の事例では、昭和五十年代には自然な形状で海に開かれていた河口が、平成二十五年までには直線的に埋め立てられ、さらにその海上に新しい橋が建設されるなど、交通網の整備と土地利用の高度化が同時に進んだことを地形図から読み取ることができます。
問8	答え 1 カルデラの中には広大な草原が広がっており、肉用牛の放牧などが盛んに行われている。	阿蘇山のカルデラやその周囲を取り囲む外輪山には、古くから広大な草原が形成されています。この環境を活かして、あか牛（褐毛和種）などの肉用牛の放牧や、採草地としての利用が盛んに行われてきました。シラス台地は南九州（鹿児島県など）、段々畑の果樹栽培は愛媛県などの沿岸部、カルスト台地は山口県の秋吉台などが代表的な例であり、阿蘇山の特徴とは異なります。
問9	答え 1 標高が低い地域の地下鉄駅において、入り口を高く設計することで洪水の流入を防ぐ工夫	地下鉄の浸水防止対策は、主に都市部の低地における水害リスクを軽減するために行われます。特に海抜ゼロメートル地帯を走る路線では、駅の入り口に階段を設けて高くしたり、止水板を設置したりすることで、洪水時でも駅構内の安全を確保し、都市機能を維持する役割を果たしています。
問10	答え 2 十一月に行われる七五三は、三歳・五歳・七歳の子供の成長を祝う伝統行事である。	七五三は、子供の死亡率が高かった時代に、無事に成長したことへの感謝を込めて十一月に行われるようになった行事です。他の選択肢については、ひな祭りは三月、端午の節句は五月に行われるものであり、灌仏会は四月の釈迦の誕生を祝う行事であるため、時期や内容が異なります。
問11	答え 4 真珠やカキの養殖業：入り江が深く、外海の荒波の影響を受けにくいから。	リアス海岸は複雑に入り組んだ湾の構造により、外海からの波が遮られるため、湾内は非常に穏やかです。この特性を利用して、波の静かさが求められる真珠（志摩半島）やカキ（三陸海岸）などの養殖業が古くから発展してきました。一方で、背後にはすぐに山が迫っているため平地が少なく、大規模な稲作や工業地帯の形成には不向きという側面もあります。
問12	答え 4 火山灰の降下範囲や土石流の危険性、洪水の浸水想定区域など、地域の特性に応じた情報が記載されている。	ハザードマップは、鹿児島市であれば火山の噴火被害、大津市や岡山市であれば河川の氾濫や浸水など、その土地特有の自然環境に基づいたリスクを反映させる必要があるため、地域によって記載される内容が異なります。